

小松市立学校PTA連合会

PTAだより 第74号

<市P連事務局>

〒923-0927 小松市西町25番地
小松市立芦城小学校内

TEL (0761) 23-2478
FAX (0761) 23-0902
E-mail pta@kec.hakusan.ed.jp
ホームページ www.hakusan.ed.jp/~kcpta/

平成22年10月1日発行
市P連広報委員会

印刷：有限会社 斎藤印刷



子供たちの成長と 地域の発展を目指して

小松市長 和田 慎司

PTA連合会の皆様方には、学校と地域の連携による様々な活動を通じて子供たちの成長と市の発展にご尽力をいただき、心からお礼申し上げます。

少子高齢化の進展や、複雑化・グローバル化する社会情勢、さらには地球環境問題など、私たちを取り巻く環境は依然として難題が山積しています。そんな中、心身ともにたくましく、世界の中で強く生き抜いていける人材を育てていくことが、われわれ大人の役目であります。また、三世代家族が一緒に暮らし、世代間の交流が盛んに行われているまちは笑顔があふれ、その交流によつて生まれた絆が「地方の時代」に強いまちを創っていくと信じています。

それらの実現のためにも、ぜひPTA連合会の皆様の力強いご支援とご協力をお願いする次第です。

連合会で近年、特に重点的に取り組んでいただいている「朝ごはん運動」は、子供たちの健康的な生活習慣づくりだけでなく、人

と人とのつながりを大切に、周囲からの環境づくりによって、家庭の教育力も高めていこうという素晴らしいものです。夏休み中には、学校と連携した「生活習慣チェックシート」や早寝早起き朝ごはんに関する標語、ポスター、朝ごはんレシピなどの募集、さらに朝のラジオ体操の活性化など多くの取り組みをしていただき、大変うれしく、感謝申し上げます。

小松市は今年、市制70周年を迎え、多くの記念事業や市民協賛事業を実施しながら、自然、歴史文化、食などの魅力アップと発信によって、交流人口の拡大を目指しています。連合会の皆様方にも、関連事業の参加や市民協賛でのご協力をよろしくお願いいたします。

11月14日に開催される「早寝早起き朝ごはん運動」小松市民大会が、年間活動の総括として大いに盛り上がり、今後の活動につながっていくことを期待いたしますとともに、会員の皆様方のますますのご活躍をお祈り申し上げます。



小松市立学校PTA連合会
会長 西出 稔

他人の振り見て
我振り直せ

先日、久しぶりに出張に出かけました。朝一番の電車で、うつらうつらと居眠りしている人が多くいる中で、福井から数家族の団体が乗り込んできました。どうやら甲子園に行くようだ。家族旅行でウキウキ気分、子ども達は大はしゃぎ。(それでも「ダメやろ」「何しての」と大きな声で叱る。叱るのはいいが通路を挟んで、しかも2列後の子どもを叱るのだから当然大きな声になる。まるで、一角が家の居間にいるような感覚? そのうち私の頭の上を菓子箱が飛んできた。「ナイスキャッチ」と母親が言う。

「他人の振り見て我が振り直せ」よく親から言われたものだ。と言うより親同士の会話を子どもながらに聞いていただけかもしれない。家庭の中の何気ない会話から、世の中の厳しさや、人との交わりの大切さ、そして他人を尊ぶ気持ち、感謝する気持ちを子どもは学んでいくものだと思います。私たちは今、「早寝早起き朝ごはん運動」を通して、この当たり前の家庭のあり方を今一度見直し、毎日の規則正しい生活の中で子どもも大人も成長していく事が大事だと思います。子どもは、私たち大人の生きる姿や勉強する姿から学んでいくのではないでしようか。

波佐谷小学校

研究大会発表を振り返つて

波佐谷小学校 P.T.A.会長

寺山 陽一郎

2年前の秋、波小単P役員会に呼ばれ、

自分が単P会長となる平成22年度に、波
小が研究発表指定校である事を、初めて
知らされました。そして、1年前に研究
発表実行委員会を立ち上げ、毎月の実行
委員会を経て、直前の6月以降は、パワ
ーポイント・ナレーションのリハーサル
を重ね、慌しく本番。1週間後には、実
行委員会の発展的解散式を兼ねた打ち上
げと、こうして足かけ2年間の研究発表
活動は無事エンディングを迎えました。

テーマについては、私達の波佐谷小学
校の特徴（恵まれた自然環境→自然環境
を生かした自然学習・P.T.A.行事→小規
模校の限界→家庭・学校・地域の連携）
から必然的に導かれたもので、特に研究
発表という形式にはこだわらず、素朴に
将来の波佐谷小の子ども達やP.T.A.に何
が残せるのかという想いをシナリオ、映
像、ナレーションに載せていきました。
限られた人数の中、委員の人達には、各
人得意分野でそれぞれ隠れた能力を發揮
してもらいました。

まずは、春夏秋冬という季節の移り変
わりの映像の中で、流れる様に各行事を
紹介していくパワー・ポイント・スライド
や締切を一日延ばして深夜のメールのや
り取りで完成した紀要制作では、2人の
技術班が大活躍でした。
ナレーションパートは、3人の会員女
性にお願いしました。ナレーションとス
ライド映像を合わせたため、個別に録音し
パート練習。その甲斐あって本番では感

動的なナレーションとなりました。

そして、本番でのライブB.G.M.、サプライズ演出

で思わず拍手がわき起ったガートさん。ガートさ
んのお陰で見て楽しめる発表、記憶に残る発表にな
ったのではないかと思います。打上げではまつ先に
乾杯の音頭をお願いした教頭先生には、正にこの2
年間投げ出したくなる所を陰から一生懸命支えても
らいました。

研究発表実行委員会は解散しましたが、技術班は
当日の発表・録音を記録メディアに残すべく編集中

です。当初の目的通り、将来の波佐谷小の子ども達
やそのP.T.A.に現在行われている自然学習・行事を、
研究発表記録として残していく事ができそうです。
この発表には、テーマに沿ったアンケートも、グ
ラフも、分析図も出てきません。さらに、波小P.T.
A.の組織にすら触れていません。ただ私達が言いた
かった「私達P.T.A.が家庭と学校と地域をつなぐバ
イブ役」という想いだけは、皆さんに伝えられたの
ではないかと信じております。



□ 小松市教育委員会表彰式

- ・長田 竜太
- ・吉村 範明
- ・佐藤 敦子

□ 小松市立学校PTA連合会会長感謝状

〈地域功労賞 個人〉

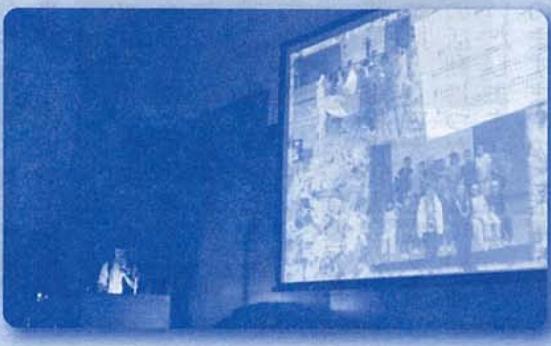


- ・余助 幸一 氏

「地域の先生」松陽中学校

- ・竹本 勇 氏

「地域の先生」向本折小学校



研究大会を終えて

芦城中学校 玉成会会長

馬場 英樹

今回の研究発表大会では、「夢を
味方に、未来を切り拓こう」とい
うテーマで、本校が15年前から取
り組んでおりますキャリア教育の
3つの事業「職場見学」・「職場体
験」・「ようこそ先輩」を紹介いた
しました。

昨年、実行委員会を立ち上げ、
3つの事業の写真や子どもたちの
感想文などを集めると共に、これ
らの3つの事業がどのような経緯
でスタートしたのか、開始年度は
いつごろで何年間継続されている
のかなど過去の資料を調べ、研究
大会の準備を進めて参りました。

特に発表の内容では、各々の事業
の目的や内容を明確にし、子ども
たちが何を感じ取ったのかをでき
る限り分かり易く表現するよう心
掛けました。そして、期待される
効果や今後の課題など事業の成果
について改めて見直すことができ

芦城中学校

日末小学校

研究発表を終えて

日末小学校 育友会会長

竹中 豊太郎

私は、3年前より日末小学校育友会の理事として、育友会活動に参加して来ました。初めは、活動内容に対する認識が全く無く、その中で平成22年度小松市PTA研究大会の指定校であることを聞かされました。大変な時期に役員を受けたことに不安な気持ちと、どの様に進行してよいか迷いが多くありました。そうした状況の中で、以前より「食育」を通して、親子、学校そして地域の方との結びつきがあることを育友会役員や学校の先生方との会話から知りました。そこで私は、この日末地区には、子どもたちの成長を支えてくれ、あたりまえの様に思いがちな地域の人々や自然が豊かであり、そのことに対する思いやりや感謝の気持ちを持つことが大切であると思いました。

今回の研究大会に向けての取り組みを実行委員会の中で論議しました。そこでも全く新しい活動を増すというより、従来の活動を人や自然に対しての感謝の気持ちを意識しながら、家族が絆をより深められる活動内容に企画運営すること決まりました。どの育友会役員の方も例年の活動を“こなす”という感覚ではなく、それぞれ熟慮し、新鮮味のある活動が盛り込まれていました。

「秋の夜長を楽しむ会」は、親子、家族が秋の夜長をゆっくりと楽しむことを目的としている行事ですが、今回は、3部構成で行われ、地域の方も参加して頂き、いました。今後とも育友会活動の目的、主旨、指針を確認しあい、子どもたちの心身共に健やかな成長を見守りながら、育友会活動を継承して行きたいと思います。

私は、3年前より日末小学校育友会の理事として、育友会活動に参加して来ました。初めは、活動内容に対する認識が全く無く、その中で平成22年度小松市PTA研究大会の指定校であることを聞かされました。大変な時期に役員を受けたことに不安な気持ちと、どの様に進行してよいか迷いが多くありました。そうした状況の中で、以前より「食育」を通して、親子、学校そして地域の方との結びつきがあることを育友会役員や学校の先生方との会話から知りました。そこで私は、この日末地区には、子どもたちの成長を支えてくれ、あたりまえの様に思いがちな地域の人々や自然が豊かであり、そのことに対する思いやりや感謝の気持ちを持つことが大切であると思いました。

今回の研究大会に向けての取り組みを実行委員会の中で論議しました。そこでも全く新しい活動を増すというより、従来の活動を人や自然に対しての感謝の気持ちを意識しながら、家族が絆をより深められる活動内容に企画運営すること決まりました。どの育友会役員の方も例年の活動を“こなす”という感覚ではなく、それぞれ熟慮し、新鮮味のある活動が盛り込まれていました。

8月1日(日)こまつドームにて第53回小松市PTA研究大会が開催されました。平成22年度は「共に生きよう！今、私たちができること」～感謝の気持ち・生きる力を育むために～をテーマとし、和田市長をはじめたくさんのご来賓の方をお招きしてお互いの活動を報告し合いました。今年は波佐谷小学校PTA・日末小学校育友会・芦城中学校玉成会の3校が、それぞれの地域の特色を生かした心に響く発表でした。

大会後半では、非行に走る少年少女とその親達のカウンセリング活動を続ける伊藤幸弘教育研究所(静岡)の伊藤所長の熱い講演がありました。親子の信頼関係についてを題材に、会場の多くの保護者の共感を呼ぶ感動的なトークでした。

また、開会式におきましては日頃PTA活動や子ども達の健全育成に努められた方への表彰も行われました。



講師：伊藤 幸弘 氏
(伊藤幸弘教育研究所 所長)

たことは今後の活動に大きくプラスになつたのではないでしようか。PTAの組織は、単年度で交替し、その事業の目的やいつごろから実施されているのかなど分らなりままでいることが多いと思いますが、今回の研究大会を通じて保護者の皆さんや先生方に少しでも理解を深めて頂けることができ、大変良い機会を与えられたと思います。

最後に、これまでご協力頂きました関係各位に、心から感謝し御礼を申し上げたいと思います。本当にありがとうございました。



第1回母親委員会

◆日時 平成22年5月28日(金) 18:00~ ◆場所 サンルート小松



平成22年度 母親委員事業計画(案)の説明がありました。

各母親委員の方々は殆ど初対面で、最初は緊張していましたが、徐々に打ち解けて会話も弾み、和やかな時間を過ごすことが出来たようです。
また各グループ毎の役割分担もスムーズに決まり、これから1年の活動も頑張って取り組んでいきたいと思います。



母親委員会担当校長
波佐谷小学校 板倉 順子

「母の日に 野球で勝つて プレゼント」
この句は、本校で取り組んでいる「やまびこ俳句」

で投稿されたもので、「母親に喜んでもらえるプレゼントができた」という子どもらしい素直な気持ちがこめられており、親子で楽しく勝利を喜びあつた場面が浮かんでくる、ほのぼのとした作品です。

このように子ども達は「喜んでもらいたい」という思いで様々な事に努力したり、未知のものに挑戦したりするのではないかでしょう。

しかし必ずしも努力がいつも報われるとは限りません。親や教師の期待を裏切ることも多々あります。子どもが自信をなくし、打ちひしがれている時こそ、親や教師の出番です。「失敗は成功の下」「七転び八起き」等先人が残した前向きな格言があるように、結果より努力した事を認め、自信を取り戻し自己肯定感を持たせ、新たな困難に立ち向かえるよう子どもと関わり合うことが大切です。

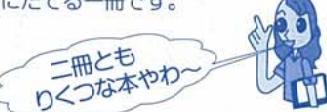
詩人・書家として多くの人々の心を勇気づけていた相田みつを氏が小学校のPTAの会長をされたときに、「未来は誰にもわからない」「子どもはその未来を生きるものである」「その時親の手は届かない」と3つの言葉をノートにメモされていたそうです。将来、子ども達が親の手を離れ自立して生きていくために、私達親と教師は連携し、失敗やつまづきを温かく見守り、“ビタミン愛”を子ども達にたっぷり注ぎ、自信と誇りを持たせることが、未来を拓く逞しい力を育むことに繋がると思います。

“ビタミン愛”で
逞しく生きる力を

読んでみまっし♪

子どもは「話し方」で9割変わる
福田 健 著

親と子のみならず、周囲の人達とのコミュニケーション能力の向上にお役にたてる一冊です。



最高の出会いが人生の勝利
伊藤 幸弘 著

高校中退後に構成員15000人の暴走族の2代目総長を経て、自らの非行・更生経験を生かした話題作。
青少年育成コーディネーター・伊藤幸弘教育研究所所長として現在活躍。

第2回母親委員会

◆日時 平成22年6月25日(金) 19:00~

◆場所 芦城センター

多忙な親の感情で
子どもと会話を
していませんか

適度な子どもへの期待は
その子の動機付け(やる気)
を起こす事が出来る



講演タイトル
**「親の言い分
子どもの言い分」**

講師
藤原 清道氏

感謝は感じるもの!!
子どもにしっかり伝えよう!!

子どもは
親の言葉で少しづつ
変わっていく。

広報委員の紹介

今年度 私達が担当します。
よろしく御願いします



中川 恵 (符津小)
谷口 美幸 (蓮代寺小)
田川 陽子 (中海小)
梅川ゆかり (月津小)

講演会の感想

- ☆ 日常の中で、“あるある！” “そうだ！”と同感する部分の多い 内容だった。
- ☆ 我が子の短所・長所を最初から決めつけて見ていた。
もっと多面的に見ていきたい。
- ☆ 自分の価値観を子どもにも押しつけない。
自分の所有物ではないのだから…
- ☆ 子どもの顔を思い浮かべながら聞いていて、アッという間の時間だった。
- ☆『目から鱗』『痛い所をつかれた』的なことばかりで勉強になった。

◇ 早寝早起き朝ごはん運動について ◇

特別委員会 委員長 新田 寛之

『早寝早起き朝ごはん運動』も本年度で4年目となりました。これまで以上に充実した内容を目指し活動しております。朝ごはんも、とりあえず食べれば良いという考え方から、栄養のバランスを考えた朝ごはんを食べようという高い意識に少しづつ変わっています。これは『早寝早起き朝ごはん運動』自体が世間に浸透してきたことを意味するのではないかと思っています。子ども達ではなく、大人も含め、早起きをし、バランスの良い朝ごはんを食べるという習慣を、前向きに取り組んでいかなければならぬと思います。

時代は常に進化しています。情報化や多様化が進み、我々の生活も暮らしやすい環境へどんどん変化していきます。それと共に子ども達を取り巻く環境も常に進化しています。子ども達を取り巻く環境も常に進化しています。パソコンやインターネット、ケータイやゲームなど、大人と同様に我々の生活に深く入り込んできているのが現状です。インターネットやケータイなしでは生活出来ない、と言つても過言ではないような時代になつてきました。しかし、時代や生活がどれだけ進化しても変わらぬ普遍の価値観というものがあると思います。そのすべての基本が『早寝早起き朝ごはん』ではないでしょうか。小学校、中学校といふ人生の中でも一番大事な時期を、規則正しく過ごすことが人間形成においてとても重要だと考えます。昨年同様、夏休みの前半と後半の一週間に生活習慣チェックシートを付けてもらい、規則正しい生活リズムや行動意識を高めました。楽しき一杯の夏休み前半から、宿題の仕上げに追われる後半での、生活習慣の改善に繋がれば良いと思い実施しました。



まあ 食べないよりいいか …… by T-S 広報委員



〔ケータイ電話問題講習会〕開催

新世代委員会 委員長 山崎 由裕

5月24日(月)、各PTAの会長、母親代表、市PTAの役員を対象に、「ケータイ電話問題講習会」を、小松市教育センター指導主事、谷口一登先生を講師に招いて、市役所で開催しました。参加者は71名で、全小中学校から参加いただきました。

今年も『早寝早起き朝ごはん運動』として『早寝早起き朝ごはん運動』に関する「朝ごはんレシピ」「標語」「ポスター」などの作品を募集しました。その中から厳選した優秀作品を表彰させていただきます。また、地域や町内会などで『早寝早起き朝ごはん運動』に関する活動を活発にしていたいたい団体に地域功労賞を贈らせていただきます。また、本年度は世界的にも有名で、石川県七尾市出身のパティシエ辻口博啓氏をお迎えし、楽しいご講演をいたたく予定をしております。お誘い合わせの上、たくさんのご来場を心よりお待ちしております。

最後になりますが、関係各位はじめ多くの皆様のご厚情に感謝申し上げると共に、今後も変わらぬご支援とご協力をお願い申し上げます。

ケータイやインターネットを、心の発育途上の子どもに使わせることは、とても危険なことです。小松市PTA連合会では、小学生に携帯電話を持たせない活動を推進しております。また、それぞれの学校でも「ケータイ電話問題講習会」を随時開催していますので、保護者の皆様に、ぜひ参加して頂き、携帯電話の危険性について、正しい御理解をお願いします。

第1回会長研修会を終えました。

第一回会長研修会が、6月10日(木)こまづまちづくり交流センターにて行われました。今年度最初の研修会ということもあり、各単位会長の方々も緊張感の中、熱心に研修会に参加いただきました。今回は初めて、我々P.T.A連の先輩でもある、小松市教育委員会委員長の北村嘉章氏をお招きし、「市P.T.A連に期待すること・教育界でしなければならないこと」をテーマに、これまでの豊富な経験を基にしたご講演をいただきました。

講演の中では、縁や恩を大切にし、子ども達を自立させ、そして開花させることが重要であると説かれ、またPTAも組織として必要な変革や継続を大切にし、運動体としてスマートな運営をすることが大切であるというお話をしておりました。

また市P.T.A連の事業の重要性にも触れ、中でも8月に行われる研究大会は、各校の発表を聞いた参加者が、2学期以降あるいは次年度の各単位P.T.A連の活動の大きな参考になるものであり、発表する側においても聞く側においても、非常に重要な事業であると話されておりました。

さらに、魅力が無いと何をしていても面白くないので、それぞれの学校あるいは事業において、それぞれの持つ特色を出すことが大切であると話され、教育界でしなければならないことについて、期待を込めてご講演をいただきました。

ご参加いただいた皆様、ありがとうございました。

第1回会長研修会を終えました

総務委員会 委員長 横山 康治

つまづき交流センターにて行われました。今年度最初の研修会ということもあり、各単位会長の方々も緊張感の中、熱心に研修会に参加いただきました。今回は初めて、我々P.T.A連の先輩でもある、小松市教育委員会委員長の北村嘉章氏をお招きし、「市P.T.A連に期待すること・教育界でしなければならないこと」をテーマに、これまでの豊富な経験を基にしたご講演をいただきました。

講演の中では、縁や恩を大切にし、子ども達を自立させ、そして開花させることが重要であると説かれ、またPTAも組織として必要な変革や継続を大切にし、運動体としてスマートな運営をすることが大切であるというお話をされておりました。

また市P.T.A連の事業の重要性にも触れ、中でも8月に行われる研究大会は、各校の発表を聞いた参加者が、2学期以降あるいは次年度の各単位P.T.A連の活動の大きな参考になるものであり、発表する側においても聞く側においても、非常に重要な事業であると話されておりました。

さらに、魅力が無いと何をしていても面白くないので、それぞれの学校あるいは事業において、それぞれの持つ特色を出すことが大切であると話され、教育界でしなければならないことについて、期待を込めてご講演をいただきました。

ご参加いただいた皆様、ありがとうございました。

親子伝統文化体験事業を、親子60名の参加を得て実施しました。本年度は市政70周年ということで、市P連のメインテーマであります「早寝早起き朝ご飯運動」が提唱されていることから、この親子体験事業も何か関連することができないかと委員会で探っていました。そこで石川が誇る伝統工芸で「早寝早起き朝ご飯運動」に関連するものを、体験しながら製作していただき伝統文化の大切さと、親子のふれあいの大切さを見直し、心豊か人間性を養うと共に、他の親子との交流により家庭教育に関する情報交換や新しい仲間作りをしていただきことを目的として企画しました。

お子さんも親御さんも真剣に取り組んでいる姿に、お子さんだけ、親御さんだけではなく、親・子・で・体験することが大切だと感じながら、親子の様子を拝見させてもらいました。今回は小学1年生で参加することは出来ませんでしたが、自分も子どもと参加できればいいな感じました。

食事は和紙の館で、2グループに別れそば打ち体験と和紙の手漉き体験を交互にしました。自分で打つたそばは格別においしかったのか、結構なボリュームがあつたにも関わらず足りないと言う声が多かったです。お昼からは場内を散策していました。その場でぶどうの房を切り取り食べる、普段では出来ないこと体験していただきました。

あつと言う間の体験でしたが、感想を書いていただき、喜んだ事、貴重な体験が出来たなどたくさんのが感想をいたしました。委員会で時間を費やしたことや忘れさせられ、メンバーで喜ぶことが出来ました。体験をサポートする方にまわり親子での共同作業を拝見することで、子どもも親御さんも忙しいご時世で、どうやって時間を作り出して、どれだけ子どもと関われるかが大切だと本当に感じました。

この親子伝統文化体験事業を開催するにあたり、参加した親子の皆さん、協力していただいた企業の方、関係者の皆さん、そして委員会メンバーの皆さんには本当に感謝しております。ありがとうございました。



親子伝統文化体験

豊かな心を育む委員会 委員長 山内 豊

8月8日（日）加賀伝統文化アーニティ伝統工芸村「ゆのくにの森」にて、親子伝統文化体験事業を、親子60名の参加を得て実施しました。本年度は市政70周年ということで、市P連のメインテーマであります「早寝早起き朝ご飯運動」が提唱されていることから、この親子体験事業も何か関連することができないかと委員会で探っていました。そこで石川が誇る伝統工芸で「早寝早起き朝ご飯運動」に関連するものを、体験しながら製作していただき伝統文化の大切さと、親子のふれあいの大切さを見直し、心豊か人間性を養うと共に、他の親子との交流により家庭教育に関する情報交換や新しい仲間作りをしていただきことを目的として企画しました。

お子さんも親御さんも真剣に取り組んでいる姿に、お子さんだけ、親御さんだけではなく、親・子・で・体験することが大切だと感じながら、親子の様子を拝見させてもらいました。今回は小学1年生で参加することは出来ませんでしたが、自分も子どもと参加できればいいな感じました。

…保護者の感想…

今日は、ありがとうございました。伝統文化の豊かな土地に住みながら体験した事の無い物ばかりで親子共々楽しく過ごしました。参加するまでは“？”だった子供達も夢中になっていました。参加してよかったです。（N様）

そば打ち体験楽しませて頂きました。家庭でそばを打つことはなかなかできることではありませんから貴重な体験を親子で味わうことができました。（U様）

ゆのくにの森は初めて訪問ましたが、普段なかなか体験できないことがたくさんありました。娘も自分でかつくのが大好きなので参加できて本当に良かったと思います。森の中を散策するのも時間を忘れて親子でトンボを追いかけたり自然を満喫できて幸せでした。やっぱり、せっかく石川県に住んでいるのですでしたくさんの伝統文化を日頃から身近に感じ、大切にしていかなくてはと再認識させられました。（H様）

今日はたくさんの初めての体験を子供と一緒にする事が出来ました。輪島塗りでは予想以上にきれいに仕上って感動でした。自分達で打ったそばとおにぎりの昼食はおいしかったです。ぶどう狩りではぎっしりと実のつまつたぶどうにまた感動！手がネットになる程甘いぶどうでした。楽しい体験ありがとうございました。（Y様）

親子そろって何か作業をする機会が今までにほとんど無かったので今日は良い経験が出来ました。本当に楽しかったです。特に手びねりでは、久し振りに粘土をこね、だんだん熱して子供をほっぽって楽しんでしました。お世話を下さった皆様方、本当にありがとうございました。（D様）

…子どもの感想…

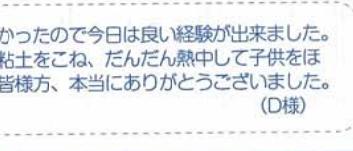
今日は、とても楽しくて色々な体験が楽しかったです。そば打ち体験は最初から（そば粉）作ってとても疲れました。作ったそばを食べたときはとてもおいしかったです。ゆのくにの森はとても広くてビックリしました。ぶどう狩りは2個も食べました。美味しいかったです。また行きたいです。とても楽しかったです。（Iさん）

九谷焼の絵付けをして思ったことは、何回もやったことがあったけど、今日が一番上手にできたので良かったと言うことです。（時間ギリギリまでしました）ぶどう狩りではとてもおいしいぶどうを食べられてよかったですですが「蚊」に刺されるのが痛かったです。（Kさん）

「ゆのくにの森」では輪島塗りなど、さまざまな貴重な体験が出来たので良かった。私は特に「輪島塗り」の体験が楽しかった。キーホルダーに模様を付けて、金色の粉をかけると模様の溝に粉が入りきれいたって感動した。是非、また来たいと思った。「ぶどう」もどれも甘くて美味しいかったです。（Nさん）

一番楽しかったのは紙すき体験です。葉っぱを乗せるときはどこに乗せようか迷いました。最後の液をかけるときに色々な色や、金箔、銀箔があつてすごいと思いました。出来たランチョンマットは大切に使いたいと思います。（Uさん）

輪島塗りの館では箸を影って絵を描いたのが初めてで良い体験になったと思いました。ガラス工芸でベーバーウェイトを作つてイルカの絵の物を作りました。楽しかったです。次はオルゴールの館を体験したいです。（Tさん）



単Pだより

中海中学校育友会

第5回 中海中学校ウオーキング2010

親子で築く達成感

中海中学校育友会が、夏休みにウォーキングを主催して、今年で5回目になりました。今年は、8月29日(日)朝6時に中学校を出発し、緑濃い山間を歩き、辰口丘陵公園までの往復約19キロを、生徒160名、保護者、地域住民、教職員80名の計240名が歩きました。また、この大勢の集団歩行を保護者60名が、給水、誘導、救護、食事作り等のスタッフで支えました。

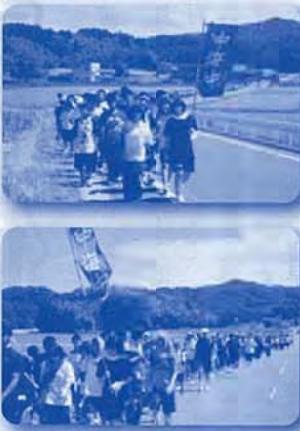
準備は4月から始まり、毎年、いかに子どもたちの実のある行事にするか、議論を重ねて開催しています。今年、育友会だけでなく、生徒会が打合せに参加しました。そして、生徒達から「運営に参加し、生徒の思いを入れたウォーキングにしたい」と意見がありました。保護者同士、あるいは生徒を交えた打合せは、延べ20回を超えました。生徒は、スローガン、ポスター作成、掲示、方針決めなど、とても積極的でした。生徒が主体性を持つて運営に参加し、そして親子で味わう達成感、満足感、そして感謝の気持ち。

「その一步から感じよう! あふれる緑とあふれる笑顔」今年のスローガンです。240人の集団歩行を安全に支える準備、体制は、とても大掛かりです。5年前に始めた頃の育友会の方々の御尽力は、計り知れないと思います。その諸先輩の築いた基礎の上にいる私たち保護者は、継続発展させ、そして、いつかは中海中学校の伝統へつなげていきたいです。毎年、保護者の参加人数は増え、生徒達と一緒に歩く保護者の

中海中学校育友会が、夏休みにウォーキングを主催して、今年で5回目になりました。今年は、8月29日(日)朝6時に中学校を出発し、緑濃い山間を歩き、辰口丘陵公園までの往復約19キロを、生徒160名、保護者、地域住民、教職員80名の計240名が歩きました。また、この大勢の集団歩行を保護者60名が、給水、誘導、救護、食事作り等のスタッフで支えました。

準備は4月から始まり、毎年、いかに子どもたちの実のある行事にするか、議論を重ねて開催しています。今年、育友会だけでなく、生徒会が打合せに参加しました。そして、生徒達から「運営に参加し、生徒の思いを入れたウォーキングにしたい」と意見がありました。保護者同士、あるいは生徒を交えた打合せは、延べ20回を超えました。生徒は、スローガン、ポスター作成、掲示、方針決めなど、とても積極的でした。生徒が主体性を持つて運営に参加し、そして親子で味わう達成感、満足感、そして感謝の気持ち。

「その一步から感じよう! あふれる緑とあふれる笑顔」今年のスローガンです。240人の集団歩行を安全に支える準備、体制は、とても大掛かりです。5年前に始めた頃の育友会の方々の御尽力は、計り知れないとと思います。その諸先輩の築いた基礎の上にいる私たち保護者は、継続発展させ、そして、いつかは中海中学校の伝統へつなげたいです。毎年、保護者の参加



小松市立学校PTA連合会 小・中学生総合保障制度 「自転車総合保険・こども総合保険」

- ★ 簡単支払特急便 お電話一本でスピーディーに保険金をお支払
ケガによる入院・通院で、5万円以下の請求は、電話による事故報告のみで保険金をお支払します。
- ★ ご加入のお子様のみ対象 セカンドオピニオン アレンジサービス
医大の教授・名醫教授クラスの先生方(総合相談医)がセカンドオピニオンをご提供します。
- ★ ご加入のお子様とそのご家族対象 マイホームドクター24
医師や経験豊かな看護師、臨床心理士等が、医療・健康・ストレスに関してアドバイスをします。
また、医療機関に関する情報も提供します。

▶詳しくは、4月に配布されたパンフレットをご参照下さい。◀

ご加入の方は上記サービス内容をお気軽にご利用ください。

■ 保険会社 AIU保険会社(エイアイユー・インシュランスカンパニー)金沢支店 〒920-0869 石川県金沢市上達町2-37 管理三ビル3F TEL:076-223-1144

参加が増えています。当日、3年生は、途中の給水や、朝食配布、隊列管理を行ない、そしてゴール後、すべての人感謝の気持ちを込めて、かき氷を作りました。当日は、最高気温35度の炎天下でしたが、ほぼ全員が無事19キロを完歩しました。

復路は、特に暑くつらいです。女子生徒が、励まし合って歩いている姿を何度も見ました。生徒の書いた感想文を見ても、「とても歩けそうでなかつたけど、友達がいたから頑張つて歩けた」。ゴールしたあと、生徒が作ってくれた、かき氷を食べている姿は、生徒も大人も関係なく、皆共通の達成感、満足感に包まれています。

多感な中学時代に、全校生徒と親が中心になって、同じ事に挑戦し、達成感を共有できる経験は、とても大切であり、労多くとも行う価値があります。そして、この行事が、多くの方々のお力のおかげで、無事終わったことに、感謝の気持ちで一杯です。

多感な中学時代に、全校生徒と親が中心になって、同じ事に挑戦し、達成感を共有できる経験は、とても大切であり、労多くとも行う価値があります。そして、この行事が、多くの方々のお力のおかげで、無事終わったことに、感謝の気持ちで一杯です。

- お子様の自転車搭乗中のケガの補償▶傷害保険金
- お子様の24時間のケガの補償
- 扶養者の方が万一の場合の補償▶育英費用保険金
- 日常生活上の賠償事故の補償▶賠償責任保険金

…大切なお子さまのために。…
事故のご報告・保険金のご請求… (受付時間:24時間365日)
AIU事故受付専用ダイヤル 電話 0120-01-9016 (通話料無料)
A-000214 (2010年8月現在)

編集後記

上半期の話題といえば、サッカーW杯で石川県に縁がある選手の大活躍で日本は大いに沸きました。この先、小松の地で生まれ育った子ども達が世界をあつと驚かせ日本を明るくしてくれる事を願っています。

広報委員長 坂口 晃裕

平成22年度 市P連組織

顧問	会長	監事	会計
本村 与茂 茗荷谷 豊	西出 稔 (板津中)	村本 吉広(丸内中) 山本 孝夫(中海小)	藤野 敦子 (御幸中) 〔石川県PTA連合会・家庭教育委員会〕
副会長 宮岸 和弘(芦城小)	副会長 鹿田 稔夫(串小)	副会長 山岸 稔(松陽中)	委員長 ○ 副委員長 ● 校長
総務委員会 太田 伸 厚福島 康治(向季折小) 猛 純(中海小)	広報委員会 達北 口 山本 光洋(中海小) 寺吉 中(中海小)	新世代委員会 西村 豊(國府中) 芳賀 喜(中海小)	豊かな心を育む委員会 澤田 竹中 豊太郎(日未少) 織成 天丸少
副会長 宮岸 和弘(芦城小)	副会長 鹿田 稔夫(串小)	副会長 山岸 稔(松陽中)	母親委員会 ○ 池田 真理子(丸内中) ○ 藤原ひとみ(芦城少)
副会長 鹿田 稔夫(串小)	副会長 中田浩大(稚松小) (石川県PTA連合会副会長)	副会長 黄木幸代(芦城中) 奥山裕子(芦城中) 西戸千鶴子(第一小)	特別委員会 ○ 新田 寛之(安坐少) ○ 中田 浩大(副会長) ○ 宮岸 和弘(副会長) ○ 山岸 稔(副会長)
副会長 鹿田 稔夫(串小)	副会長 中田浩大(稚松小) (石川県PTA連合会副会長)	副会長 黄木幸代(芦城中) 奥山裕子(芦城中) 西戸千鶴子(第一小)	会計 藤野 敦子 (御幸中) 〔石川県PTA連合会・家庭教育委員会〕
副会長 鹿田 稔夫(串小)	副会長 中田浩大(稚松小) (石川県PTA連合会副会長)	副会長 黄木幸代(芦城中) 奥山裕子(芦城中) 西戸千鶴子(第一小)	事務局 官野 由美
副会長 鹿田 稔夫(串小)	副会長 中田浩大(稚松小) (石川県PTA連合会副会長)	副会長 黄木幸代(芦城中) 奥山裕子(芦城中) 西戸千鶴子(第一小)	